



## 平成29年度千葉県知的障害者福祉協会 定期総会開催

●日時／平成29年5月16日（火）午後1時30分～ ●会場／ホテルグリーンタワー幕張

二〇一七年七月号

# 千葉あいご

第66号（二〇一七年七月号）

発行日 平成二十九（二〇一七）年七月二十日

発行者 里見吉英

編集者

畠山正昭・菅谷大輔・秋山直樹

発行所

千葉県知的障害者福祉協会

（本部）千葉市中央区中央四一四一〇 友美ビル二一二B  
TEL 〇四三二（一一四）五七二一  
FAX 〇四七（四五七）二四六一

HP <http://www.chibachiteki.com/>

（事務局） 船橋市金堀町四九九一 大久保学園内

（事務局） 船橋市金堀町四九九一 大久保学園内

## 目 次

- 平成29年度千葉県知的障害者福祉協会定期総会……………①②
- 権利擁護委員会研修報告……………②③
- 平成29年度千葉県知的障害者福祉協会役員（一部変更）……………③④
- 障害支援の職場「就職面接会」……………④⑤
- 生活サポート千葉研修会のお知らせ……………④⑥
- 第45回手をつなぐ作品展……………④⑦
- 支援スタッフ部会コーナー……………④⑧
- 新事業所紹介……………④⑨
- わが施設の自慢・アピールポイント④
- 千葉知協トピックス……………④⑩
- 事務局だより・編集後記……………④⑪

協会定期総会に先立つて特定非営利法人生活サポート千葉の平成29年度定期総会が午後1時30分より行われました。まず、里見理事長より挨拶がありました。当千葉県の生活サポートセンター千葉の活動は全国的に見ても大変活発でNHKでも紹介されました。サポートの対象者が知的だけでなくもつと広い分野も対象として活動をしています。しかし、運営費は少なく何とかやりくりをしているのが現状です。サポート千葉が対応している人の受け入れ先がなかなか無いのが現実であり、各施設積極的に受け入れ欲しいと要請がありました。その後、しおさいホームの佐久間智氏が議長となり28年度の活動報告と決算そして本年度の活動（案）と収支予算（案）が報告され、原案通り承認されました。

午後2時15分からは、千葉県知的障害者福祉協会定期総会が開催されました。29年度の会員事業所は30事業所に上り、総会当日

B A

法人改革では、福祉事業の監査が強化されます。基本は3年ごとですが、監査法人をつけた優良な施設は5年ごとになりますが逆に問題のある施設に対しては厳しくなります。また、各地区での監査の基準にバラつきがある事については、監査ガイドラインを作つて統一されたルールの下で行われるようになります。

平成30年度は報酬改定になりますが、介護保険や医療分野も同時に改定となります。そのため他の分野との整合性を取るために変厳しい報酬改定が予想されています。さらに基本の報酬が下がり加算の方式にシフ

は156事業所187名の参加がありました（その他の委任状提出57事業所）。冒頭、里見吉英会長からの挨拶で、動きのめまぐるしい障害福祉制度等の説明がありました。まずは千葉県の動向から障害福祉課が障害福祉事業課と障害福祉推進課の二つの課に分かれましたが、まだ落ち込んでいるとのことです。特に施設運営に関係が深い障害福祉事業課の課長が国からの出向でなく県庁の生え抜きの岡田慎太郎課長になつたことが紹介されました。

更に、平成29年度の福祉事業の大きなポイントが解説されました。

トされていく見込みです。そのため、請求事務が複雑になることが心配されます。また、社会福祉法人には地域貢献活動、特に生活困窮者への支援が求められています。

強度行動障害研修も千葉県では順調に行われています。

E C D

人材確保も大きな問題です。社会全体において人手不足は深刻な問題ですが、特に介護の世界は深刻です。特別養護老人ホームが施設は完成したものの職員が足りないためにオープンできない事例があります。当福祉協会でも人材確保のための特別委員会を設立して対応をしていきます。

人材確保も大きな問題です。社会全体において人手不足は深刻な問題ですが、特に介護の世界は深刻です。特別養護老人ホームが施設は完成したものの職員が足りないためにオーブンできない事例があります。当福祉協会でも人材確保のための特別委員会を設立して対応をしていきます。

最後に今年度は関東地区知的障害者福祉関係職員研究大会が、7月13日(木)～14日(金)の日程で千葉市の東京ベイ幕張ホテルで開催されます。開催県として大会を成功させるためにも各事業所から一人でも多くの職員の参加をしていただきたいとの要請がありました。

定期総会後、当協会の顧問弁護士である石塚弁護士より「現在までの相談内容に関する傾向と課題」と題して講演が行われました。今回の福祉制度が利用者と事業者が契約の上に成り立つていて制度ですから、支援側としてもしっかりと法律を理解しなければなりません。27の実際にあつた相談内容から具体的に解説と対策のお話がありました。その一つとして施設内事故の事があります。他害行為が予測される利用者が、職員が目を離したために他の利用者にかみついて怪我をさせた場合、誰が責任を負うかという問題が発生します。民法では責任能力がない人の加害行動は、監督者が責任を負う事になります。その対応のためにも、偶発的な事故にも対応できる「個人賠償保険」に入る

総会の各議案の進行においては、会場より選出された大利根旭出福祉園の山之内俊雄氏が議長を務め、円滑に議事が進行され、平成28年度事業報告、決算報告及び会計監査結果報告、平成29年度事業計画(案)と收支予算(案)が千葉市事務局長をはじめ、各部会長と各委員長によつて説明がなされ、原案通り承認されました。



## 協会顧問弁護士による状況報告

## 権利擁護委員会研修報告

6月2日(金)於 千葉市市民会館内

施設長 荒井道貴

社会福祉法人さざんか会  
笹川なづな工房

平成29年6月2日、千葉市市民会館内の小ホールにて千葉県知的障害者福祉協会（権利擁護委員会）が主催による「虐待防止及び身体拘束廃止につながる応用行動分析の基礎を学ぶ研修会」が開催されました。午前から始まつた研修会は、障害者虐待防止法や虐待が起きた理由や背景、どのようなことが障害者虐待となつてしまふのかを改めて考えてもらう機会を持つて頂くことや、それに合わせて行動障害を持たれている方に対する支援について学んでいただき、そのことを法人に持ち帰つて研修会に参加出来なかつた施設職員にも共有していってほしいという目的で、平成29年度も企画させていただきました。

当日は約140名が参加され、一昨年までは新人職員を中心に研修会を開催していましたが、昨年度より新人職員のみに拘らず多くの方に学んで頂こうという方針で開催し、今回は新人職員や中堅職員の他に経験年数10年以上のベテラン職員など幅広い層の施設職員の方が参加されました。

初めに権利擁護委員会より障害者虐待防止に関する基礎的な内容のお話があり、「権利擁護」の意味を噛み砕いて説明され新人職員の方にもわかりやすい内容でした。その後、鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座で教授の井上雅彦氏より「行動障害に対する支援方法と応用行動分析を用いたアプローチ」というテーマでご講義を頂きました。最初に身体拘束に対する考え方や身体拘束を行う際の3つの要件などのお話しの後、仮想事例を用いて行動障害を持つ方がアクションを起こす前の環境や起こした後の

環境を整理し分析していくことや、その行動がどのような機能を果たしているのかグループワークを交えながら解説していただきました。また、午後からのグループワークでは1つの事例を午前中の講義で学んだ方法を用いてどのように支援したらよいのかを話し合いました。私たち実行委員もグループワークに参加し、支援方法を討議し、現場における実際の支援で苦慮していることについて話し合いました。参加者の中でも積極的に話し合いが行われ、討議内容の発表においても様々な支援方法やアイデア等が挙がっていました。

グループワーク終了後に井上氏より問題を個人で解決するのではなくチームで情報を共有し問題を解決していくことの大切さを学ぶことが出来ました。他にも今回の講義では、障害者支援に関する技術・知識だけではなく、ケース会議の進め方や司会・進行が行うべきことなどのノウハウも学ぶことが出来ました。その中でも多くの職員が発言しやすい環境を作るようになります。自施設印象に残っているのは、井上氏が経験年数の多い職員は、ユニークなアイデアを出して新人職員が発言しやすい環境を作るようになります。自身、今回の研修はとても勉強になりました。

社会福祉法人齊信会畠町ガーデン  
支援員 渡辺 翔

## 平成29年度千葉県知的障害者福祉協会役員（一部変更）

### 役員

会長	里見吉英	(ふる里学舎)
副会長	小林 勉	(しもふさ学園)
副会長・事務局長	千日清	(大久保学園)
監事	宮代 隆治	(さざんか会)
監事	白鳥 征四朗	(心聖会)
顧問	横山 紀武	(豊四季光風園)
顧問	中原 強	(大久保学園)

### 部会長

生産活動就労支援部会	雜賀直人	(わかば園)
児童発達支援部会	新福 麻由美	(桐友学園)
障害者支援施設部会	佐久間 智	(しおさいホーム)
日中活動支援部会	山形朝雄	(かしの木園)
相談支援部会	三木 康雄	(十倉厚生園)
地域支援部会	相馬伸男	(千葉県社会福祉事業団)
支援スタッフ部会	鶴岡 秀隆	(ピア宮敷)

### 委員長

スポーツ文化委員会	藤嶽 明	(ひかり学園)
研修委員会	小林 勉	(しもふさ学園)
広報委員会	島山 正昭	(中里の家)
調査研究委員会	秋本 泰司	(いすみ学園)
権利擁護委員会	濱本 典子	(でい・さくさべ)
福利厚生委員会	中村 敏久	(上総喜望の郷)
政策委員会	樋口 敦夫	(上総ゆうゆうの郷)
人材確保特別委員会	中村 輝彦	(ビーアンビシャス)

## 障害支援の職場「就職面接会」



平成29年5月14日(日)、ホテルグリーンタワー幕張に於いて協会主催の就職面接会を開催いたしました。昨年の11月に開催した第一回合同説明会では、来場者があまりにも少なく参加法人の皆様には大変がつかりさせてしまいました。ので、今回はなるべく多くの来場者を見込むためにチラシの配布やポスターの掲示など協会会員の皆様のご協力を頂き周知活動に力を入れ準備してまいりました。

また、『移動写真展』と称してイメージアップのための写真と詩のパネル展示を実施しました。あまり日数がありませんでしたので今回は成田国際福祉専門学校、植草短期大学、淑徳大学、千葉敬愛短期大学でしか開催できませんでした。各学校においてはとても好評だったというお声を頂きました。皆様の周

知活動のご協力のおかげで、今回の来場者数は37名という大変うれしい結果となりました。これでも少ないという意見もありますが、前回に比べたら大幅に伸びましたので素直に喜びたいと思います。

来場者お一人お一人の希望する種別や地域に沿いながらできるだけ多くの法

人の説明が聞けるようにスタッフも必死で誘導等しましたが十分に行き届かず申し訳ございませんでした。それでも多い所で10名程度面接ができる法人大つたようです。結構希望する地域が限定されていましたので偏りが出てしまったのは仕方ないことかもしれません、面接した人材を確保するのは、この後の各法人の努力にかかっています。

私は会場の都合で36法人に限定いたしましたが、今後なるべく多くの参加が可能となるよう企画をしていきますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

政策委員会 樋 口 敦夫

### 2017年度 特定非営利活動法人生活サポート千葉 研修会のおしらせ

（日時）平成29年9月25日(月) 13:00～16:00

（会場）千葉市文化センター

（千葉中央ツインビル2号館5階）  
千葉市中央区中央2丁5-1

（次第）13:00 開場受付

13:30 開会挨拶 加藤裕一  
講演「非行少年・受刑者たちの生き方と回復」

講師 大阪大学大学院 教授 藤岡淳子氏  
16:00閉会

お問い合わせ 特定非営利活動法人生活サポート千葉  
千葉県地域生活定着支援センター  
☎ 043-224-5721



7月11日(火)～13日(木)に、成田市にある、「イオンモール成田1Fスカイコート」のご協力を頂き開催しました。これまで、千葉市内の会場で開催してきましたが、今回初めて成田市での開催となり、販売・展示含めて18事業所の参加となりました。たくさんの方にご来場頂きました。それぞれの事業所の活動を作品という形で表現し、来場した皆様に紹介する事が出来たのではないかと感じております。活動を行っている皆さんの自己表現の場とともに、福祉の活動への理解を深められるような機会としていきたいと思っております。会場を提供していただきいたイオン様をはじめ、各施設、各事業所、関係者の協力に紙面を借りて御礼申し上げます。

千葉県知的障害者福祉協会 手をつなぐ作品展  
中部地区事務局 中野学園 西山克也

## 第45回 手をつなぐ作品展

## 支援スタッフ部会コーナー

### 香取・海匝ブロック 第5回施設職員交流 フットサル大会



香取・海匝ブロックでは、施設職員交流フットサル大会を行っています。今回で5回目を迎える毎回白熱した試合が繰り広げられます。参加チーム数は6チームで最初に3チーム毎のリーグ戦を行い、各リーグの1位同士2位同士で決勝トーナメントを行なう試合形式で行いました。各事業所が一品を持ち寄り、全チームに参

加賞が送られる他、激しい試合を制した優勝チームにはトロフィーが授与されます。

サッカー経験者も多い中、フットサルではパスワークが大切です。日頃より練習をしている

チームも多いため、試合では見事な連携を見せ、豪快なゴールが決まると会場も大盛り上がりでした。親睦を兼ねたフットサルではありますが、支援スタッフ部会香取・海匝ブロックの恒例行事として、今後も開催をして行き、多くの事業所が参加して頂けるよう皆さんが楽しめるブロ

ックを目指していきたいと思います。また、県内の各ブロックにおいてもフットサル大会を実施しているブロックがあります。ブロックを飛び越えた交流も行えていけたら良いと思います。最後になりますが、お忙しい中、大会へ参加していただいた事業所の皆様へ、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

香取・海匝ブロック長

佐原聖家族園 郡 司 賢一

### 市原・安房・君津ブロック ブロック研修会報告

平成29年5月30日に市原市にある三和保健福祉センターにて市原・安房・君津ブロック研修会が開催され、20名の参加がありました。内容は「障害者差別解消法の概要と必要とされる支援のあり方について」講師には千葉県健康福祉部障害者福祉推進課 共生社会推進室の内山直翔氏、市原市健康福祉センターの広域専門指導員の小嶋洋子氏、君津健康福祉センターの石井喜美子氏にお越しいただき、講義、グループワークを実施いたしました。自分自身「差別」という言葉を頭では理解しているつもりでしたが、今回の研修を受けて日頃の自分の支援を振り返る良い機会となりました。こちらの勝手な思い込みで支援をしているのではないか?大人同士の付き合い方・話し方で対応しているか?と自

分の支援を考えたとき、胸を張って「大丈夫」と言える支援者でありたいと思いました。「差別」というのは障害をお持ちの方に対してだけではなく、人と人が関わり合う中で誰にでも起こることではないかと思います。気づかぬうちに自分が発した言葉や行動が相手にとつては「差別」と感じてしまうこともあるかもしれません。そうならないように、日頃の言葉使いや行動に思いやりの気持ちを持つて生活したいと思いました。講師の方のお話の中である詩が紹介され、その文末に「みんなちがって、みんなない」と書かれていました。私は私、そしてあなたはあなた、違つてあたり前なのだと。私たち支援者は、利用者さんの生活をサポートしているだけで同じ人であり、上でもなく下でもない。思いやりを持って、支え合つてともに生活していくないと改めて思いました。

## 新事業所紹介

### 社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会 でい・まさご式番館

#### 地域貢献を柱に活動

でい・まさご式番館は、千葉市美浜区真砂の小中学校統廃合による3校の跡施設活用として、移転した真砂コミニティセンターの1階部分を借り受けて平成28年4月に生活介護事業（定員40名）を先行してオープンしました。敷地には他に特別養護老人ホーム、相談支援事業所、こどもルームがあります。

飽和状態に

あつた『でい・まさご』

から半数強の利用者さんが異動し、新たに卒業生を受け入れ、昨年度はその方たちが新しい環境にスムーズに馴染めることが第一としました。29年4月から放課後等デイサービス（10名）を開始しています。

でい・まさ

ごと同様に日



コミュニティセンター敷地の除草



でい・まさご式番館

とうふ工房・地域の豆腐屋として就労

社会福祉法人まつかぜの会 豆のちからは、平成18年11月5日に特定非営利活動法人まつかぜの会 地域活動支援センターとうふ工房豆のちからとして開所し平成27年4月1日に就労継続支援B型事業所に移行、平成29年7月1日から社会福祉法人として活動を展開しております。

豆のちからでは障がいを持つた方が自立した生活や社会生活を営むことが出来るよう、就労の機会を提供し、生産活動、その他活動機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な支援を行つて参りました。

**社会福祉法人まつかぜの会  
就労継続支援B型事業所**

**豆のちから**

中活動として行う地域交流、職員がスタッフとして行う地域貢献を柱にしています。屋外活動では地域住民との公園整備『手づくり公園まさご』の活動、近隣の清掃活動、いなげの浜の清掃、真砂コミニティセンター内の除草作業や植栽を使用した園芸を始めました。室内活動でさおりや刺し子などの手芸、下請け部品の組み立て、余暇活動として音楽やダンス、スポーツなどのクラブ活動、外出や調理といったサークル活動を提供しています。

通常、施設というと利用者さんや家族、職員などの関係者と用事がある人の出入りしかありませんが、コミニティセンターを利用する近隣住民が毎日たくさん敷地内を行き来しています。そうした方たちの目に自然に入るような日々の活動を通して、知的障害のことをなんとなくでも知っている、見たことあるというご近所さんが増えていくと嬉しいです。

施設長 久保田 尚史

市内の小学校の給食にも使用されるようになりました。



販売では移動販売という形式をとり、地域のお客様に定着し、おからくドーナツは市内のイベントで行列が出来るほどの人気商品へと成長しました。最近では、その実績が評価され市外への出店依頼も増えてきました。

チラシ折りやネジの検品等の受注作業では丁寧な作業を心掛けるよう支援し、施設外就労ではその丁寧な作業が評価されています。今後もより良い支援、サービスの提供を心掛け、職員一同邁進して参ります。

支援員 浦野匡介

現在31名の利用者（定員32名）と共に地域のお豆腐屋として主に豆腐製造、販売、受注作業や施設外就労を行つています。

豆腐製造では衛生管理と支援を徹底し、宮城県のはらから福祉会・藏王すずしろより仕入れた豆乳を使用し国産大豆100%、無添加、健康で美味しいお豆腐を作り続けています。また今年度から市内の小学校の給食にも使用されるようになりました。

販売では移動販売という形式をとり、地域のお客様に定着し、おからくドーナツは市内のイベントで行列が出来るほどの人気商品へと成長しました。最近では、その実績が評価され市外への出店依頼も増えてきました。

チラシ折りやネジの検品等の受注作業では丁寧な作業を心掛けるよう支援し、施設外就労ではその丁寧な作業が評価されています。今後もより良い支援、サービスの提供を心掛け、職員一同邁進して参ります。

支援スタッフ  
から見た!

# わが施設の自慢・アピールポイント24

平成20年度から23回にわたり66の“チチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は3つの“チチ自慢”です!

## 香取・海匝ブロック ひかり学園

### 「行きたい!」「楽しみたい!」に応えます!?

ひかり学園は多古町白貝古墳群の中、杉林に囲まれた自然豊かな所にある、定員48名の障害者支援施設です。学園では歩け歩け大会(3月)、花見(4月)、一泊や日帰り旅行(6月)、納涼祭(7月)、体育祭(10月)、忘年会(12月)等季節の行事を大事にしております。これらを毎年行っていますが、今年度から『個別の誕生日外出』を取り入れました。これまで月毎に誕生者をお祝いするため全員で外出していましたが、意思決定支援の一環として個別外出の形に改めました。買い物を楽しむのも良し、飲食を楽しむのも良し、と自由度が高くなりました。プランは利用者の要

望を聴くだけでなく職員も様々な提案をし、利用者が楽しみ盛り上がれるようにしています。誕生日は誰にとっても1年に一度やってくる特別な日です。その特別な日を精一杯お祝いできるよう、職員一同努めていきたいと思います。

支援員 吉住雄真



ひかり学園



お誕生日にて

## 東葛北ブロック あすか園

### 無添加・無着色 こだわりの麺

何年か前に紹介された「あすか園」です。今回は前回の紹介に追加した形でお話をしていくたいと思います。

あすか園の特徴はなんと言っても、「製麺業」を行なっていることです。

日々、無添加・無着色にこだわり製造しており、最近ではモラージュ柏の「わくわく広場」で販売を行ったり、より多くの人たちにあすか園を知つてもらうため、サイトの運営を始めたりと精力的に行動しています。それでも、まだまだ伸びる余地は大きくあります。手作り感満点のおいしさには自信のあるこのうどんの品質をしっかりと守り続けます。

そして「明日に向かって、進む、活気のある、園」あすか園は今後も成長していきます。

主任 山口泰平



あすか園



もちもちうどん

## 市原・安房・君津ブロック らんまん

### 地域密着型が私たちの自慢です!

らんまんでは、一般就労を目指した実践的な支援と、個々の心身の状況に応じた福祉的就労に繋げる支援の両面で日々の作業活動を行っています。

一般就労を目指した取り組みでは、亀田病院はじめ地元企業に協力をいただき、就労移行支援事業開始以来、約15名の方が就職。それぞれの職場で活躍しています。また、施設内では、やりがいと工賃向上を目指し、クリーニング、花壇・芝生管理、清掃、木工の各作業に取り組んでいます。

現在、鴨川市から委託を受けている駅前ロータリーの花壇整備真っ只中。みんなで汗をかきながら作業を進めていると、街の人から「きれいになった

ね。」「お疲れ様。」と声をかけられ、笑顔で元気に答えるご利用者がそこにいます。このような経験が、ご利用者一人ひとりの自信に繋がっています。今後も、ご利用者が地域の一員として活動し、笑顔と元気の溢れる施設であるよう努めていきたいと思います。

サービス管理責任者 渡邊 希



らんまん



駅前ロータリー花壇整備

# 千葉知協トピックス

スポーツ文化委員会  
成田市ぞみの園 千葉健彦

## 千葉県障害者スポーツ大会



平成29年度千葉県障害者スポーツ大会が、5月28日の千葉県総合スポーツセンター陸上競技場での総合開会式を皮切りに知的障害関係では、陸上競技、水泳、卓球、ボウリング、の4競技によって開催されました。

本大会は、10月に開催される「全国障害者スポーツ大会」への千葉県代表選手選考も兼ねており、各競技とも県代表を目指して熱い戦いが繰り広げられ、知的障害関係では、以下のような大会新記録が出ました。

### ●陸上

男子二百m少年…折原巧真(流山高等学園)

男子四百m青年…倉本翼(one's)

男子千五百m少年…岩田悠希(one's)

青年…安西伸浩(ひかり学園)

女子百m青年…鈴木裕貴(ダイバシティ)

女子二百m壮年…土岐章子(富里福葉苑)

男女混合四百mリレー…one's(鈴木、宮内、岸田、青木)

### ●水泳

男子二十五m背泳ぎ青年…成嶋祥弥(柏市)

## 「愛顔つなぐえひめ大会」千葉県代表選手決定



10月28日から30日まで愛媛県で開催される第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」の千葉県代表派遣選手が発表されました。千葉県の知的障害関係選手枠は関東大会を勝ち抜いたソフトボール競技15名と個人競技29名と厳しい選考となりましたが、最強の選手団が選考され今年も千葉県選手団の大きい活躍が期待されます。知的障害関係の派遣選手は以下のとおりです。

陸上男子…折原巧真(流山高等学園)、梅澤一貴(市川大野高等学園)、佐志翼、倉本翼、青木聖

男子二十五m平泳ぎ壮年…西沢亮(松戸市)  
男子五十mバタフライ少年…中島啓智(習志野市)  
男子五十m平泳ぎ壮年…角田隆司(松戸市)  
女子二十五m自由形少年…狩野花瑛(湖北特別支援学校)  
女子五十m自由形少年…安藤涉(さくら分校)  
女子五十m平泳ぎ少年…安藤涉(さくら分校)  
男女混合二百mリレー…ユアーリー我孫子(石井、柴田、成嶋、原田、新村、野口)

水泳男子…中島啓智(習志野市)、八重樫準(市川市)  
卓球男子…木川田優大(市川大野高等学園)、竹守彪(TOMAX)  
卓球女子…鈴木千絵子(市川市)  
卓球男子…木川田優大(市川大野高等学園)、竹守彪(TOMAX)  
卓球女子…鈴木裕貴(Diversity A.C.千葉)、原野史菜(one's)、土岐章子(富里福葉苑)  
中島朗(十条SC)、米澤諒(佐倉市)、安西伸浩(ひかり学園)  
真、岩田悠希(以上、one's)宮内勇大、眞次駿英、青木大地、岸田悠弥(以上、Diversity A.C.千葉)、

## 事務局便り

事務局長 千日 清

定期総会を終え、29年度を開始いたしました。

来年の行政による様々な改正に向けて、協会として適切且つ現実的要望も一同で進めたいと思います。  
どうぞこれからもご協力を戴きますようお願い申上げます。

## 編集後記

くすのき苑 秋山直樹

今年度から千葉あいご作成に携わらせて頂くことになりました。初めての事に対する不安を希望に変えていこう。